

檜山北高通信 第145号

八穂の星

〒049-4433 久遠郡せたな町北檜山区丹羽360-1

TEL: 0137 (84) 5331 FAX: 0137 (84) 5333

令和4年12月19日(月)

- ・ 体育大会
- ・ 開校50周年事業
- ・ 上級学校見学
- ・ 見学旅行



体育大会

九月三十日(金)、令和四年度体育大会を実施しました。「完全燃笑」をテーマに真剣勝負あり、笑いありの行事となりました。午前は男女バレーボールを行い、各クラス対抗で熱戦が繰り広げられました。午後は今年度から初めてとなる運動会種目を行いました。借り物競走や100m走などの運動種目だけでなく、どれだけ遅く自転車でゴールにたどり着けるかを競う「チャリ遅選手権」、バランスボールを落とさずゴールまで運ぶ「バランスボール競争」などバラエティに富んだ種目で大いに盛りあげました。

また、体育大会は新体制となった生徒会執行部の初めての行事となり、準備に苦慮しながらも全校で楽しめる行事を作りあげることができました。



鍊心大望 開校50周年記念事業

十月六日(木)に開校五十周年記念講演会、同月九日(日)に記念式典を実施しました。記念講演会では、森崎博之氏(演劇ユニットTEAM NACS リーダー)を講師として招へいし、「生きることは食べることをテーマに講演いただきました。生徒たちは最初こそ、森崎氏の問いかけにかなり緊張していた様子でしたが、次第に場が盛り上がり、楽しい交流の機会となりました。



▲坂本さん(陸上競技部)の全国大会出場報告(式典後)



▲上) 生徒会長より感謝の花束贈呈(講演会)
下) 大本教諭による本校の教育活動の紹介(式典後)



▲生徒の悩みにも熱く答える森崎氏(講演会)

▼第15代校長より感謝状受領者代表謝辞(式典)



▲第50期生徒会長挨拶(式典)



▲学校長式辞(式典)

▼周年事業協賛会 森川会長挨拶(式典)

記念式典は、来賓及び、感謝状贈呈者、記念誌寄稿者、旧職員、協賛会等の皆様のご参列をいただき、厳かに行われました。

本周年記念事業につきましては、せたな町・今金町の両町より多大なるご支援をいただいただけでなく、本校に関わってこられた方々のご協力により、執り行うことができました。誠にありがとうございました。

この度の五十周年にとどまらず、この先も生徒・教職員が共にこの地域と檜山北高校の発展のために努力していきたいと思います。



▲記念事業目録を受け取る 第51期生徒会長(式典)



▼開校50周年記念式典進行の様子



上級学校見学



十月二十一日（金）、一年次生全員で登別市にある、日本工学院北海道専門学校へ見学に行きました。見学では初めに専門学校の入試課の方から進学に関する説明や講話をいただきました。その後、事前に希望した学科ごとに分かれての体験学習をおこないました。体験ではホテル科は「おもてなし」に関する学習において、実際にホテルのカウンターを利用しての受付等の体験をしました。建築科では自分で実際に家を設計し、その設計したデザインをVRで見学するなど、より専門的な学習を実際に自分で体験することが出来ました。

今回の上級学校見学を通して、より自分の進路に関する考えを深め、ビジョンが明確な状態で、普段の学習に臨んでももらいたいと思います。

他地域の
歴史や文化を知る

見学旅行

今年は、広島・大阪・京都・奈良へ



↑大阪城をバックに（2B）

十一月一日（火）～四日（金）、二年次生の見学旅行が実施されました。新型コロナウイルス感染対策のため、旅行先は東京を省き、自主研修も時間も短くし、場所はある中ではありましたが、誰一人欠けることなく全員参加で実施することができました。行先はどこも好天に恵まれ、予定通り行程をこなす中で、北海道にはない歴史や文化に触れ、思うこと考えることも多々あったようです。

また、生徒たちは思い思いに楽しむと同時に二年次生共通の思い出を全員で作ることができました。



↑原爆ドーム前にて（2A）



↑金閣寺



↑伏見稲荷



↑産寧坂



←奈良の大仏



↓奈良公園



↓広島風お好み焼き



↓哀悼の言葉・献花



↓千羽鶴奉納